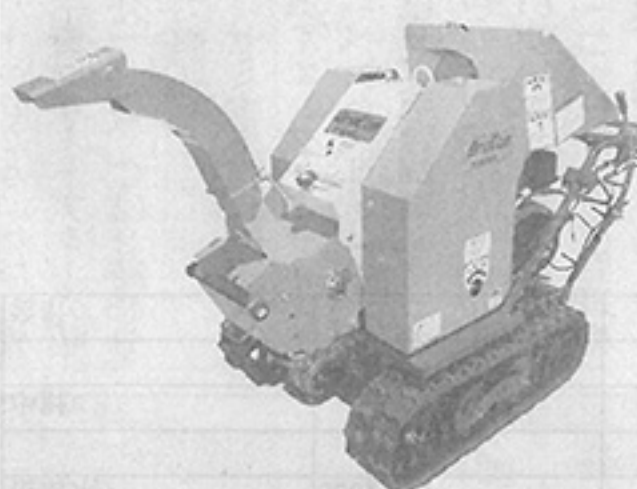


カルイ 粉砕機を機種変更

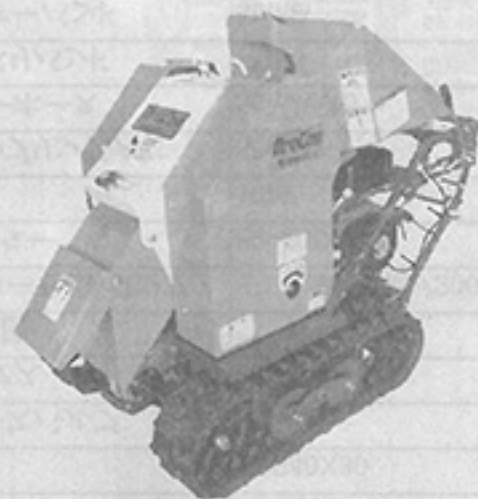
ドラコンSの能力向上

カルイ 高橋和成社 長、山形市鑄物町46-1
 には、粉砕機でプロアとスクリーンを標準装備したドラコンシリーズの機種更新を図り、10月から販売を開始した。
 機種変更は、KDC-801→KDC-802 C-1101B→KDC-1102B (同112万2000円)、KDC-802 B (同108万8000円)、KDC-1102 (同114万円)、KD

い物などはプロア（上部排出）時に詰まる場合があったが、プロアダクト（下部排出）に切り替えることで容易に排出処理ができるようになった。また、従来樹木粉砕機では困難とされていた野菜収穫後の残渣処理等用途の広がりを図ることができ、②各機種共に最大粉砕処理径を従来機より5mmアップ③操作パネルKDC-802/802 BにもLED送り表示灯を標準装備④電子制御送上位機種で採用されていたオート・クイック・リバーシブル機構をKDC-1102/1102Bに採用—など能力が向上。そのほかの特長は、①細かいチップを排出し、平刃物は両面使用可能。また、両面とも研磨して再利用が可能②着脱簡単なスライド式スクリーンを採用し、チップ粒度の変更や清掃等のメンテナンスが容易に行える③正逆転送りローラスイッチ、非常停止ボタン、LED送り表示灯を標準装備④ローター負荷を瞬時に読み取り自動コントロールするので、無理のない作業が行える。また、オート・クイック・リバーシブル機構は、負荷のかかる作業時、送りローラを一時的に逆転させることにより粉砕物と刃先を切り離し、高速回転復帰を早め作業効率を向上させる⑤スクリーン等での積み降ろしに便利なフックが標準装備⑥メンテナンスが楽⑦噛みこみ解除機能で、粉砕物が噛みこんだまま止まっても容易に取り除くことが可能—など。



KDC-802B下部ダクト付



KDC-802